

令和5年度相馬野馬追における 馬の救護事案に係る対応について

昨日8月7日、相馬野馬追執行委員会は令和5年度相馬野馬追の開催結果などを発表致しました。

相馬野馬追執行委員会では、熱中症(日射病と表記したものも含みます)により、人馬とも例年を大きく上回る要救護事案が発生したことを重く受けとめております。

特に亡くなられた2頭の馬に対し御冥福をお祈りするとともに、馬と共に継承してきた伝統行事の主催者としての責任を以て、今後の対応を速やかに整えてまいります。

令和5年度においては、事前に相当の暑さとなることが予想されていたことから、以下のような対応を追加しておりました。

- ・馬の熱中症予防に関する冊子関係者への配布
- ・祭場地内騎馬救護所への給水車の配置
- ・行列進行前の沿道への散水

しかし、これらの対策にも関わらず、2頭の馬の尊い命が失われたことにつきましては看過できない事実であり、馬と共に歴史を重ねてきた伝統行事として、このようなことはあってはならないと深刻に捉えております。

改めて、亡くなられた馬に対し御冥福をお祈りすると共に、今後このようなことを繰り返さぬよう、以下のとおり早急な改善を図って参ります。

まず、相馬野馬追の開催日程変更について、市町村や神社、騎馬会、医療関係者などと組織する検討会を前倒しして開催することとし、既に開催通知を発送したところです。

その中において「最短でも2年後」としていた日程変更の前倒しについても、慎重かつ迅速な議論を行いたいと考えております。

今年度の結果を重く受け止めるとともに、皆様から頂いたご意見も説明しながら、関係者の合意形成を進めてまいります。

また、馬の有識者からご意見を頂戴し、日程変更如何に関わらず、設備や行事の執行における馬の熱中症対策を検討いたします。

今年度導入した給水車の配置や沿道への散水だけでなく、行事待機中の暑熱対策などについても検討したいと考えております。

さらに、日頃から地域で馬を飼養する関係者が多いことから、相馬野馬追当日だけでなく、日々の健康管理や暑熱対策について、馬の専門家による出前講座の開催も予定しております。

関係者一同、1000年続くと言われるこの相馬野馬追を、この先100年、1000年と続けていくために、守り継承すべきものと、変えていくべきものを冷静に見極め、適切な対応を取ってまいりたいと考えております。

改めまして、今回亡くなられた馬に哀悼の意を表しますとともに、人馬共生の文化を土台とする相馬野馬追の継承と安全な執行にご理解を賜りますよう、宜しくお願い致します。

令和5年8月8日
相馬野馬追執行委員会 委員長
門馬 和夫